

2025年度

公立大学法人大阪 大阪公立大学
看護師特定行為研修 募集要項



Osaka
Metropolitan
University

〒 545-8586
大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
大阪公立大学医学部附属病院 看護部 看護師特定行為研修事務局
TEL : 06-6645-2501
FAX : 06-6646-6011

1. 大阪公立大学医学部附属病院の沿革、理念・基本方針

公立大学法人大阪 大阪公立大学は、2022年4月、大阪府立大学、大阪市立大学を母体に、幅広い学問領域を擁する全国最大規模の公立総合大学として誕生しました。このうち、大阪市立大学は、1880年に創設された大阪商業講習所を源流とした歴史ある大学であり、これまで豊かな人材を輩出してきました。

大学の附属施設である医学部附属病院は、地域医療の中核を担い、高度急性期病院としての役割を果たしています。

1) 理念

私たちは、医学部建学の精神である「智・仁・勇」に基づき

- ・地域住民の健康に寄与する質の高い医療を提供します
- ・こころ豊かで信頼される医療人を育成します
- ・医療の進歩にたゆまぬ努力を続けます

2) 基本方針

- ・患者さん本位の安全で質の高い医療を提供します
- ・地域医療の向上に寄与します
- ・健康・予防医学を推進します
- ・最新の高度医療の提供をします
- ・人間味豊かな優れた医療人を育成します
- ・新しい診断法・治療法・予防医学の開発を行います
- ・質の高い多彩な研究を推進します

2. 大阪公立大学医学部附属病院における特定行為実践の目指すところと看護師特定行為研修の特徴

1) 大阪公立大学医学部附属病院における特定行為実践の目指すところ(メトロポリタンモデル)

本院における看護師特定行為は、高度急性期病院としての特徴を活かし、急性重症者(主に人工呼吸療法)対応を主に据え、集中治療センター(ICU・CCU)・救命救急センター・HCUなどの重症系ユニットでの実践をメインとします。

重症系ユニット以外の病棟においても、担当医師による指示に加え、医療チームに紐づく特定行為の実施を目指しています。

2) 看護師特定行為研修の特徴

- (1)メトロポリタンモデルを志向し、さまざまな病態や治療を学び、それらに対する思考・分析、特定行為実践を経験します。研修生の所属部署、専門領域に応じて、修了後の特定行為実践を想定した内容の研修を行っています。
- (2)医学教育経験に実績のある医師、専門・認定看護師、特定行為研修修了者を指導者として各科目に配置し、シミュレーターが豊富に揃う医学部スキルスシミュレーションセンター(SSC)での演習・実習など効果的な学習が実施できる体制を確保しています。また、学習はeラーニングを用いることで就業しながら行うことができ、集合研修や臨地実習においても、大阪市内という立地からアクセスが良く、通学しやすい環境にあります。

3. 特定行為研修の教育目的と教育目標

1) 教育目的

本院の理念をもとに、質の高い安全な医療が提供できる優れた実践能力、高度な専門知識を有し医学・看護の視点から多様な臨床場面において役割モデルとしての実践力を発揮でき、「チーム医療」を推進できる調整力、問題解決能力を有する看護師を育成します。

2)教育目標

- (1)地域医療または高度先進医療の現場において重大な病態の変化や疾患を包括的にアセスメントし、当該特定行為を行うための知識・技術・態度の基礎的な能力を養います
- (2)患者の倫理面・安全面に配慮して、必要な特定行為を実施する基礎的な能力を養います
- (3)円滑なチーム医療推進のため、多職種が高い専門性を発揮し、協働して効果的に問題解決を行うための調整役としての能力を養います
- (4)自己研鑽を継続し、医学的・看護的視点において看護実践を確立する能力を養います

4. 研修内容と時間数

研修は、特定行為の基礎となる共通科目(必須)と、選択制の区分別科目からなります。

1)共通科目

- ・講義はeラーニングを活用し、個人で視聴・学習をします。
- ・演習・実習は、月に 2～3 回程度の指定日に医学部・看護学部学舎、または医学部附属病院に集合し、研修を実施します。
- ・共通科目における科目免除はありません。

共通科目名	時間数
臨床病態生理学	30
臨床推論	45
フィジカルアセスメント	45
臨床薬理学	45
疾病・臨床病態概論	40
医療安全学	45
特定行為実践	

2)区分別科目

- ・共通科目を修得した後に、区分別科目を学習します。
- ・講義・演習は、eラーニングを活用します。演習、実技指導は集合して研修します。
- ・実技指導、実技試験(OSCE)は、医学部スキルシミュレーションセンターで実施します。
- ・実習は、医学部附属病院の急性重症・救急領域部門、一般病棟及び外来、手術室等で行います。
- ・実習では、特定行為ごとに、臨床実践を5症例以上実施することが必要です。
- ・実習、実習中の観察評価は、医学部附属病院で実施します。

(1)オリジナルコース「急性重症ケアコース」

集中治療医、心臓血管外科医などとのチーム医療を推進し質の高い治療や看護を提供する特定行為をパッケージ化した「集中治療領域パッケージ」に、特定行為：直接動脈穿刺法による採血を加えたオリジナルのコースです。

特定行為区分	特定行為	時間数
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	9.5
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	23
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	

	人工呼吸器からの離脱	
循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理	10
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	7.5
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	14.5
	橈骨動脈ラインの確保	
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	20
	持続点滴中のナトリウム・カリウム及びクロールの投与量の調整	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	

(2) 区分別研修

重症系ユニット以外の病棟における行為実践を想定した特定行為区分です。主科医師あるいは医療チームの指示のもと、在宅移行支援を視野に入れた特定行為実施を目指します。

特定行為区分	特定行為	時間数
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	9.5
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	29
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	7.5
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	14.5
	橈骨動脈ラインの確保	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	16
	脱水症状に対する輸液による補正	
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	16

* 区分別科目の選択

受講希望者のキャリアや組織のニーズに応じて科目を選択して履修します。科目は、一つから選択可能で、複数を組み合わせて選択することもできます。選択する科目により、重症系ユニットで症例を取得することがあります。それを踏まえ、必要なものを選択してください。

科目選択において、重症系ユニットでの特定行為実施を考えている場合には、オリジナルコース「急性重症ケアコース」を推奨します。

また、病棟での特定行為実施を考えている場合には、それぞれ関係の深い「栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連」、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」の3区分を組み合わせて受講することを推奨します。

5. 研修期間

2025年 4月 1日(火)～2026年 3月 31日(火) 1年間

前期:2025年 4月 1日(火)～2025年 9月 30日(火) (共通科目 履修期間)

後期:2025年 10月 1日(水)～2026年 3月 31日(火)

* 選択した区分別科目数によって研修期間は異なります。

6. 修了要件

本研修を修了するためには、以下の要件を満たす必要があります。

共通科目、区分別科目を履修し、筆記試験、実技試験、実習中の観察評価など科目ごとの合格を要件とします。なお、修了判定は特定行為研修管理委員会で行われます。

特定行為区分に含まれる特定行為を全て修了すると、特定行為区分ごとに修了証が発行されます。急性重症ケアコースについては、該当する特定行為を全て修了することが、コースの修了証発行の条件です。

7. 応募要件

看護師特定行為研修の応募に当たり、下記の要件すべてを満たしていることが必要となります。

- 1) 日本国の看護師免許を取得している
- 2) 看護師経験年数が通算 5 年以上、かつ、希望する特定行為区分領域の看護経験が 3 年以上ある
- 3) 就労しながら本研修を受講する強い意志と意欲がある
- 4) 所属施設において、特定行為研修受講に向け学業優先の協力、受講後の特定行為実践への支援が得られる

8. 定員

定員人数は、急性重症ケアコース、区分別研修を合わせて 10 名とします。

急性重症ケアコース、区分別研修毎の定員は、以下の通りです。但し、各区分では定員の範囲内であっても、急性重症ケアコースを含めた合計受講者数によっては受講調整を行うことがあります。

区分別科目	特定行為区分	定員
急性重症ケアコース		5
区分別研修	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	5
	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	5
	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	5
	動脈血液ガス分析関連	5
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	5
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	5

9. 出願手続き

2024年11月1日(金)～2024年11月29日(金) 必着

*直接持参の場合は、11月29日(金)17時を提出期限とします。

*募集要項、応募書類は、大阪公立大学医学部附属病院ホームページよりダウンロードしてください。

大阪公立大学医学部附属病院ホームページ「看護師の特定行為に係る研修について」



<https://onl.bz/E3bLQS7>

10. 出願提出書類 *5)、6)は、大阪公立大学医学部附属病院看護職は不要

- 1) 看護師特定行為研修志願書 (様式1)
- 2) 履歴書 (様式2)
- 3) 志願理由書 (様式3)
- 4) 看護師免許証の写し
- 5) 推薦書 (様式4)
- 6) 受講審査料(¥12,000 消費税含む)の振込用紙控え

受講審査料 振込先

三井住友銀行(0009)大阪公務部(045)

普通口座番号「138651」口座名「公立大学法人大阪」

*振込手数料は受講希望者の負担となります

*受講審査料の納入期日は、出願手続き期間締切日の1日前です。11月29日(金)に、本学で納入が確認できるよう、前日までに納入してください。

*なお、提出された出願書類、受講審査料は返却いたしません。

*提出書類の記入にあたって

申請書類	様式	記入方法と注意事項
看護師特定行為研修志願書	1	・受付番号は空欄とする ・記載は自署とする
履歴書	2	・受付番号は空欄とする ・所属施設名は正式名称を記載する ・Eメールアドレスは、携帯電話やGmail、Yahoo!メールなどのフリーメールでも可。但し、選考試験に関する重要なお知らせが配信される可能性があるため、受験終了まで変更や削除の可能性がなく、日常的に確認しやすいメールアドレスを記入する *「所属部署師長あるいは所属長の推薦」欄は、大阪公立大学医学部附属病院看護職は所属部署師長、上記施設以外の看護職は所属長が、自筆で記載する *推薦に当たっては、所属部署師長あるいは所属長(推薦者)と、

		受講を希望する理由、研修修了後の特定行為における抱負、また研修修了後に期待する役割や活動につき話し合っておくこと
受講動機	3	・受付番号は空欄とする ・受講動機 「看護師として活動している状況と課題を踏まえ、特定行為研修を受講し今後どのように貢献したいか」を記載する
推薦書 *大阪公立大学医学部附属病院以外の看護職のみ提出	4	・受付番号は空欄とする ・推薦書は、本人が所属する所属長が、応募者に特定行為研修修了後に期待する役割等について記載する ・厳封すること

- ・提出書類は過不足なく記入する。書類に不備がある場合は受理できないこともある。
- ・自署以外は、パソコンで入力可とする。ボールペンを用いて記載し、消せるペンを使用しない。
- ・年号はすべて西暦表示とする

11. 出願書類提出方法

上記の出願書類を封入の上、角形2号(A4)封筒に「特定行為研修 志願書在中」と朱書きのうえ、以下の提出先に必ず「簡易書留」で送付するか、または直接持参してください。

提出先及び問い合わせ窓口

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
大阪公立大学医学部附属病院 看護部 看護師特定行為研修事務局 阿部美佐子
TEL: 06-6645-2501 FAX: 06-6646-6011

12. 選考方法及び日時、場所

選考方法:書類審査および面接

- * 受講審査料の納入が確認できた方に、面接に関する通知を郵送します。
- * 面接は、2024年12月10日(火曜日)午後実施する予定です。
- * 選考試験予定日の約1週間前には、選考試験の詳細を本人宛に郵送致します。到着しない場合は、上記「提出先及び問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

13. 合否発表

- * 受験者に合否通知書を郵送します。
- * 電話やFAXでの合否問い合わせには応じません。

14. 受講手続き

合否通知の際に、受講手続き及び研修受講料の振込についての詳細をご案内します。
なお、受講にあたっては「看護職賠償責任保険」の加入が必須となります。

15. 研修受講料(税込み)

1)大阪公立大学医学部附属病院看護職

研修受講料:原則無料

但し、研修修了後3年間は、本院にて特定行為を実践・推進し、組織貢献することを誓約するものとします。

2)上記施設以外の看護職

共通科目	区分別科目						
	急性重症ケアコース	区分別研修					
	集中治療領域パッケージ + 特定行為 直接動脈穿刺法による採血	呼吸器 (気道確保に係るもの)	呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの)	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)	動脈血液ガス分析	栄養及び水分管理に係る薬剤投与	血糖コントロールに係る薬剤投与
¥336,600	¥385,000	¥60,000	¥73,000	¥63,000	¥64,000	¥55,000	¥55,000

*研修受講料は、共通科目+区分別科目の合計金額となります。

*上記費用の他に、テキスト費用等が発生することがあります。

16. その他

- 1)日本看護協会看護師賠償責任保険等の賠償責任保険に加入することを推奨します(研修受講開始後、区分別科目実習までには加入すること)。
- 2)大阪公立大学医学部附属病院看護職は、特定行為研修受講前に行った e ラーニング視聴学習を条件により受講済みとして免除する受講前学習制度を用いることもできます。

17. 備考

- 1)提出書類は、この選考試験にのみ使用します。但し、合格者の提出書類については、合格後の事務手続きなどに使用することがあります。
- 2)提出書類は、「大阪府個人情報保護条例」及び「公立大学法人大阪における個人情報の取り扱い及び管理に関する規程」に基づき適正に管理します。
- 3)受験資格がないこと及び申込用紙記載事項が正しくないことが判明した場合、合格を取り消すことがあります。